

■補足資料:ASEAN 自動車市場:2015 年の概要

2015 年のマレーシア自動車市場

フロスト&サリバンによると、2015 年のマレーシアの新車販売台数は、前年比 1.3%減の 65 万 7500 台となる見込みとなり、物品・サービス税(GST)の導入や通貨リンギット安が背景にあります。「OEM 数社は GST 導入後に自動車価格の引き下げを行ったにも関わらず、景気後退や通貨リンギット安、生活費や自動車所有に伴うコストの上昇により、大きな支出を控える結果となった」と、フロスト&サリバンの自動車・交通運輸部門VPのバイダは述べます。

<2015 年の乗用車市場>

2015 年の乗用車販売台数は、前年比 0.9%減の約 58 万 3000 台となる見込みです。スポーツ用多目的車(SUV)が 87%の成長を見せた一方で、乗用車とミニバン型の多目的車(MPV)市場は減少しました。マレーシアの自動車メーカー「プロドウア」が国内乗用車市場のうち 36.2%のシェアを占め、ホンダは外国車市場で 15.9%のシェアを保有しています。

「ホンダのマーケットシェアの成長は、『ジャズ』、『シティ』そして新たに販売された『HR-V』の強固な売上によるものです。厳しい市場状況にも関わらず、乗用車市場では、『Myvi』、『HR-V』、『メルセデス・C クラス』や『マツダ 3』などの数種類のモデルチェンジが見られました」とバイダは述べます。

高級車市場では、メルセデス・ベンツが圧倒的なシェアを占め、マレーシアの高級車市場でのシェアを 2014 年の 32%から 2015 年の 48%に増やしています。2015 年のメルセデス・ベンツ・C クラスの現地生産の開始が売上を促進する結果となっています。

<2015 年の商用車市場>

2015 年の商用車の販売台数は、前年比 4.6%減の 7 万 4500 台に減少しました。ピックアップトラックが 1%とわずかな成長を見せた一方で、その他の車種の販売台数は減少しています。トヨタ自動車は商用車市場をけん引し、36.8%のマーケットシェアを占めています。

「ピックアップトラックは商用車市場のおよそ 73%を占めており、トヨタ自動車の『ハイラックス』、フォードの『レンジャー』、いすゞ自動車の『D-MAX』が商用車の売上をけん引しています」とバイダは述べます。

2015 年、いすゞ自動車は「D-MAX Diablo」、「V-Cross」の 2 種のモデルチェンジを発表しました。三菱自動車の「トライトン」と日産自動車の「ナバラ」の次世代版が販売されたほか、フォードの「レンジャー」の改良版が投入されました。

2015 年タイ自動車市場

2015 年のタイの新車販売台数は、前年比 10%減の約 79 万台となっています。三年連続での自動車需要の落ち込みは、経済停滞による販売台数の落ち込みや、消費者の購買力の弱まり、輸出需要の落ち

込みなどが要因に挙げられます。また、GDP85%と高いレベルでの家計債務が、融資の引き締めや消費者支出の低下へとつながっています。

新車販売台数の落ち込みは、タイ経済の落ち込みによるものであり、農作物の低い価格や収穫、予測を下回る民間投資の停滞や、不安定な世界経済がタイ国内の新車販売台数の減少へとつながりました。

2015 年のインドネシア自動車市場

2015 年のインドネシアの新車販売台数は、前年比 16%減の 101 万 3000 台に減少しました。これは国内経済の停滞や消費者信頼感の落ち込みが、政府が打ち出す刺激策や金融政策の緩和を上回る結果となったことが背景に挙げられます。

一方で、インドネシア自動車市場の中でも LCGC が高い回復力を見せており、SUV の需要が急増しました。SUV は新モデルによってマーケットシェアを拡大し、多目的車(MPV)やセダン市場はシェアを落としています。

インドネシア政府は 2015 年 6 月、自動車の分割払いの頭金を 30%から 25%に引き下げる取り組みを開始しました。一部のブランドは新モデルを販売し、第二四半期に開催されるモーターショーを通じて積極的な宣伝キャンペーンを実施しました。例えば、ホンダは『モビリオ』、『HR-V』の成功により、市場でのポジションを確立しています。

また、インドネシア経済は 4.7%と過去 10 年間で最も低いペースでの成長となり、自動車市場の成長と拡大に必要な勢いを持続するには不十分となりました。経済停滞や、中国などの主要な輸出先における需要の落ち込みが、自動車市場の減退に拍車をかける結果となっています。新車販売台数が減少となった一方で、インドネシアは ASEAN(東南アジア諸国連合)圏内で最大の自動車市場としてのポジションを維持しています。

フロスト&サリバンについて

フロスト&サリバンは、独自のリサーチに基づいて企業のビジネスを成長に導くグローバルな知見を提供し、ビジネスの新たな成長機会の創出からイノベーションの実現までを支援する、リサーチとコンサルティング機能の両方を兼ね備えた企業のナレッジパートナーです。世界 40 拠点以上のグローバルネットワークを軸に、世界 80 カ国ならびに 300 に及ぶ主要な全てのマーケットを網羅することで、メガトレンドや海外新興市場の台頭、テクノロジーの進化などのグローバルな変化に対応し、企業がグローバルなステージでビジネスを成功させるための 360 度の視点に基づいた知見を提供しています。 www.frostjapan.com

本件に関するお問い合わせ先:

フロスト&サリバン ジャパン株式会社 担当:辻

〒107-6123 東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 23 階

電話: 03-4550-2215 / FAX: 03-4550-2205 / E-mail: anna.tsuji@frost.com

URL: www.frostjapan.com